

原料費調整（スライド）制度に基づく2025年2月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2025年2月検針分に適用される従量料金単価を、2025年1月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m³あたり－9円74銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合、ガス料金は月額6,158円（税込）となり、204円（3.21%）お支払額が減少します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2024年9月～2024年11月のLNG、プロパンの平均原料価格を2024年9月～10月の貿易統計確報値、2024年11月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は92,460円/t となります。2025年1月検針分のガス料金調整額を算定した2024年8月～2024年10月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2024年9月～2024年11月の実績平均原料価格はトンあたり250円上昇しましたが、政府の支援により10.0円/m³（税込）が値引きされていますので、料金調整は上記のとおりとなります。

政府の「電気・ガス価格負担軽減支援事業」の詳細につきましては、資源エネルギー庁の特設サイト「電気・ガス料金支援」をご覧ください。

[\(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/\)](https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/)

●2025年2月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2025年1月検針分の従量料金単価に対して、-9.74円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m ³ あたり)	
			2025年2月	2025年1月
A	0 m ³ から 10 m ³ まで	976.80 円	279.05 円	288.79 円
B	10 m ³ を超え 170 m ³ まで	1,593.46 円	217.38 円	227.12 円
C	170 m ³ を超え 500 m ³ まで	4,690.18 円	199.16 円	208.90 円
D	500 m ³ を超える	10,674.18 円	187.20 円	196.94 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※2025年2月の従量料金単価は政府の支援により10.0円/m³（税込）が値引きされています。

●2025年2月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合

2025年1月適用料金 (a)	2025年2月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,158 円	6,362 円	-204 円	-3.21%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年～2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m³）

	2024.9～2024.11	2024.8～2024.10	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	92,320	92,100	132,510
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	90,840	89,170	88,150
平均原料価格(LNG換算)	92,460	92,210	131,740

■2024年9月～2024年11月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\
 &= 92,320 \text{ 円/t} \times 0.9788 + 90,840 \text{ 円/t} \times 0.0231 \\
 &= 92,461.22 \text{ 円/t (10円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{\underline{92,460 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 92,460 \text{ 円/t} - 131,740 \text{ 円/t} \\
 &= -39,280 \text{ 円/t (100円未満切捨て)} \\
 &= \underline{\underline{-39,200 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} - \text{政府の支援による値引き} \\
 &= \{ -39,200 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times 1.10 \} - \underline{\underline{10.0 \text{ 円}}} \\
 &= -44.496 \\
 &= \underline{\underline{-44.50 \text{ 円/m}^3}}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

※政府の支援により、10.0円/m³（税込）が値引きされています。

	2025年2月	2025年1月	増減
調整額(円/m ³ ・税込)	-44.50	-34.76	-9.74

以上